

夏の縄文体験



陸平貝塚出土の双口土器を作っています

さる7月28日（金）～30日（日）にかけて文化財センターでは夏の縄文体験事業を開催しました。体験は縄文土器作り、縄文クッキー作り、まが玉作り、さき織り、古代組紐、藍染めなどのメニューがあり、子どもから大人まで多くの方が体験を楽しみました。土日にはみほ一すが登場し子どもたちと楽しく触れ合いました。

10月22日（日）は陸平縄文ムラまつりを開催しますので、ぜひご来場ください！



陸平貝塚を訪れた県外からのグループが学芸員の説明を聞いています



今回は縄文クッキー作りが人気でした！



古代組紐は異なる色糸を指で交差させながら編んで紐を作ります。昔は甲冑やさまざまな道具・衣装に使われました。

「美浦かるた」で知る

みほの文化財

美浦かるたは美浦村女性行政推進協議会が作成した美浦村ならではの内容が詰まったかるたです。今回から特に文化財にかかわる札をとりあげてご紹介していきます。

最初の札は「5」

いま
今もある

かいたくましい
開拓魂

つちやごう
土屋郷

土屋地区の開拓精神を読んだ札です。

土屋地区は江戸時代には大形村、君島村、興津村、布佐村、月出里村の入会地でした（註1）。

明治に入ると土農工商もなくなり、多くの武士たちは自分で職をもたなければならなくなりました。明治4年の大蔵省の「荒蕪地不毛地払下げは望む者に行う」という布告により、土浦藩最後の藩主土屋拳直（註2）は土屋地域に土屋農場を創設（註3）。開墾を申請し明治14年に土地の引き渡しが行われました。

開墾し定住するには条件があり、自分の土地を耕作するに加えて土屋農場の経営への協力などもありました。戸数の変動もありましたが、移住者の長年の努力と労苦により開墾は一応の成功をおさめ、木原村のひとつの集落になりました。

その後、昭和21年の農地改革により農地が解放され、現在は村内でも多くの人口がある地区になっ

ています。また、土浦市域で行われている行事（盆綱など）が行われるなど他の地区とは異なる年中行事もみられます。小学校は明治40年9月〜昭和53年3月まで木原小学校土屋分校（註4）がおかれていました。

地区には開拓記念碑が残されています。

註1…大形村と君島村は現阿見町、興津村と布佐村は現

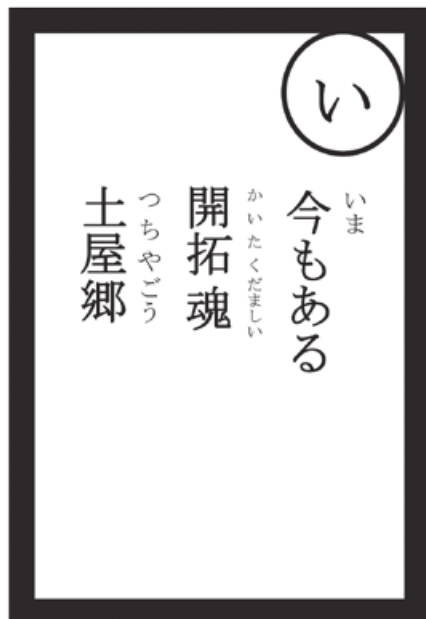
美浦村、月出里村は現稲敷市にはいっています。

註2…土屋拳直は徳川慶喜の弟で土屋家に養子に入りました。

註3…土屋農場は土浦藩旧家臣団救済のため行われた第五十国立銀行・三津輪商会創立などの一環として創設されました。

註4…現在は土屋地区農村集落センター。

参考文献…「美浦村誌」「ふるさと美浦の民俗」



第1回 御茶園西遺跡をさぐる!

御茶園西遺跡は平成 25 年度に遺跡の一部を発掘調査したところ非常に多くの遺物が出土し、平成 26 年度から 3 年かけて整理をおこないました。今号より出土資料などをおして御茶園西遺跡の調査成果をお伝えしていきます。

今回は遺跡の概要についてご紹介します。

御茶園西遺跡の場所は木原地区の湖岸近くで、日本テキサスインスツルメンツ(株)美浦工場と国道 125 号線との間の台地上に位置し、霞ヶ浦までは約 1 キロと近い距離にあります。近くには愛宕山古墳や白簀石尊古墳など村指定になっている古墳があり、調査をおこなった場所は畑として利用されていました。

発掘調査により畑の下には約 4,000 年前の縄文時代後期と約 1,500 年前の古墳時代後期のイエや当時の人びとが使用していた土器など生活道具が見つかりました。また、調査する前は平坦な台地でしたが、発掘調査を行ったところ調査した場所の地形が現在とは異なる浅い谷が入る地形だったこともわかりました。縄文時代には特にこの谷に向かう斜面に使わなくなった土器を捨てたようで、つぶれた状態の土器やたくさんの土器のかけらが出土しました。

ほかに小規模な貝塚も見つかり、当時海だった霞ヶ浦から貝をとってきていたこともわかりました。縄文時代は竪穴住居跡 3 軒、貯蔵穴 3 基、小規模な貝塚が 13 カ所、それらと少し離れた場所に埋めた土器などが見つかりました。

古墳時代は竪穴住居跡が 3 軒、須恵器と呼ばれる窯で焼かれ灰色をした焼き物のかけらがまとまって出土しました。



空からみた御茶園西遺跡 (矢印)

※発掘調査終了後に陸平通信第 78 号(2014 年 3 月 1 日発行)で紹介しています。ご希望の方は文化財センターへお問合せください。

P 4 のこたえ 天保二年卯十一月日 天保十亥年八月 安政五年正月

第20回 陸平縄文ムラまつり

日時 10月22日(日) ※少雨決行・雨天中止

午前10時～午後2時

会場 陸平貝塚公園

内容 縄文・民俗等の体験コーナー

体験スタンプラリー

縄文太鼓・おはやし・安中音頭・

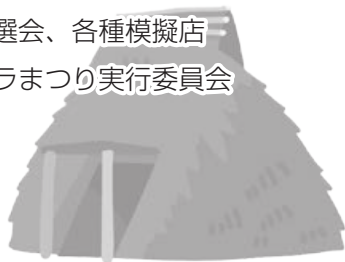
陸平音頭・コーラス

音楽コンサート：葦木啓夏さん

俚謡&縄文服コンテスト

お楽しみ抽選会、各種模擬店

主催 陸平縄文ムラまつり実行委員会



俚謡コンテストに参加しよう！

- ・おひとり一作品まで。
- ・送付先 美浦村文化財センター
- ・送付方法 ハガキ、FAX、メール、
または直接文化財センターへ。
※送付先はP.1をご覧ください。
- ・作品のほかに氏名、住所、電話番号を明記。
- ・締め切り 10月7日(土) 必着

俚謡は時代や社会風刺、日常の喜怒哀楽をつづった26文字のうた。

俚謡の作り方

7文字 (3文字) (4文字) 7文字 (4文字) (3文字)
7文字 (3文字) (4文字) 5文字 (5文字)

みほの みほ一す とつても かわい
みほの だいちを かけめぐる

陸平縄文ムラまつりのお問合せは文化財センターまで。

第19回 梅朝基礎落語

演目 「舟徳」ほか

開催日 9月3日(日)

時間 午後1時30分から

会場 美浦村文化財センター

出演 好文亭梅朝さん

当日、直接会場に
お越しください。



あなたの好きな！聞きたい！落語を投票しよう！

12月3日に開催する第20回梅朝基礎落語ではみなさんからのリクエストにお答えします。

<リクエストの方法>

演目を書いて①または②の方法で文化財センターまで！

①投票箱(文化財センター・中央公民館)

②FAX、メール、ハガキ。※送付先はP.1参照

★投票期限は、9月30日(土)！

ワンポイント 古文書講座

文字を読んでみよう！

天保二年 卯十月日
云保十三年 卯八月日
安政五年 卯六月日

内容は今日のどこかにあります。

陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car

常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus

JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

